

重要取組シート

建設局 道路部 道路整備課

取組項目		【都市インフラの耐震化等の推進】 橋りょう耐震強化事業
現状・課題		<p>本事業は、市民の命と暮らしを守るため、今後想定される南海トラフ巨大地震等の大規模地震時に備え、救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えることを目的に、「緊急交通路等における橋りょう」210 橋の耐震化を行い、災害に強い都市基盤の整備を推進するものである。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「緊急交通路や津波避難路等に関する重要橋りょう」150 橋の耐震化は令和 4 年度に完了した。 ○現在は「緊急交通路を跨ぐ横断歩道橋」や「緊急交通路を補完する道路に関する橋りょう」を追加した 60 橋の耐震化を進めている。 ○「堺市基本計画 2025」において、令和 7 年度（2025 年度）に達成をめざす KPI に「緊急交通路等における橋りょうの耐震化率 97%（204/210 橋）」を掲げて事業を推進しており、令和 6 年度末の耐震化率は 94%（199/210 橋）であり、令和 7 年度末の KPI は達成する見込みである。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和 8 年度以降に工事を実施する橋りょうは、河川内に橋脚があり工事に時間を必要とするため、多大な事業費が必要となる。 ○道路交通ネットワーク機能を良好な状態で維持し、災害に強い都市基盤の整備を推進するには、今後も年間約 5.2 億円の財源が必要であり、国庫補助金を活用しながら、代替となる財源についても検討する必要がある。 ○専門知識を要するため、橋りょうに精通した技術者の人材育成が必要である。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> ○「緊急交通路等における橋りょう」210 橋の耐震化の完了に向けて、残り 11 橋の耐震化を行い、道路交通ネットワーク機能を良好な状態で維持することで、暮らしの安全安心を確保する。 ○その他の橋りょうの耐震化についても、引き続き検討を行う。
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 工事発注事務 2 橋 <input type="checkbox"/> 工事着手 1 橋
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 工事着手 1 橋
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 工事発注 5 橋程度/年 <input type="checkbox"/> 設計発注 5 橋程度/年

進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5－(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
	寄与する KPI	緊急交通路等における橋りょうの耐震化率 [現状値：70.0% (2019年度)]	目標値 (2025年度) 97.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	緊急交通路等における橋りょうの耐震化率 [現状値：70.0% (2019年度)]	目標値 (2025年度) 97.0%